

# 令和5年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加西高等学校)

目指す学校像	人に優しく、自分に厳しく、社会に貢献できる人間を育てる学校 ～自らの力で夢を実現できる力を養う～
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>主体的に学ぶ意欲と探究心を育む授業の充実</li> <li>社会に通ずる規範意識の育成と、学校行事や生徒会活動・部活動の充実</li> <li>個々の希望を叶え、生徒の人生を豊かにするきめ細かなキャリア教育の実現</li> <li>地域連携の強化と積極的な情報発信による開かれた学校づくりの推進</li> </ol>

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

出席者	学校関係者	4名
	生徒	6名
	事務局(教職員)	9名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学年	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	年度評価(2月6日現在)		学校関係者評価 実施日 令和6年2月7日 学校関係者からの意見・要望・評価等	
					達成度	評定		
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の授業への取組は良くなっているが、主体的に学ぶという姿勢が弱い。</li> <li>新学習指導要領への対応と、生徒用タブレット端末の有効活用について、更なる研究が必要である。</li> <li>図書館利用が増えてきている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワンランクアップを目指した学力を定着させるために、家庭学習の時間を増やし、自学を定着させること。</li> <li>教員の授業へのICT活用スキルの向上を図ること。</li> <li>生徒の学ぶ意欲と探究心を刺激し、主体的に学習に取り組む姿勢を育成すること。</li> <li>図書館利用を引き続き増やし、読書を習慣化すること。</li> <li>3年間を見通して、計画的に資格取得ができるよう、学校全体で情報を共有して組織的に取り組むこと。</li> </ul>	<p>自らの探究心を育て、自己の成長のために目標を掲げ、意欲的に自学できる生徒を育成する</p>	<p>①手帳を活用し、自己マネジメント能力を高めさせるとともに、計画を立て記録を保存し振り返る習慣を身に着けさせることで、家庭学習の時間を増加させる。</p> <p>②授業公開月間を設定し、教職員の学び合いを進めるとともに、ICTの活用スキル向上のための研修会を行う。</p> <p>③withコロナの状況下でのアクティブラーニングについての工夫を進め、進路実現に向けた「学びの主体性」の育成を継続する。</p> <p>④図書館利用を積極的に授業で取り入れ、利用を推進しながら生徒の読書習慣を支援する。</p> <p>⑤資格試験の情報をまとめ生徒に周知するとともに、3年間を見通した計画を生徒に考えさせる。</p> <p>⑥検定試験の学習の支援を組織的にを行い、合格に向けた補習等を充実し、資格取得を推進する。</p>	<p>①定期考査前を中心に家庭学習の時間が増加するように全職員で指導し、家庭学習の定着を図り、授業改善アンケートで検証する。</p> <p>②教員相互に授業を公開し、教員間の学び合いを強化する。</p> <p>③ICTを活用した授業実施に向けた教員研修会を実施する。</p> <p>④各教科で連携を図り、図書館を活用する授業を行う。</p> <p>⑤資格取得を計画的に進めるため、西高ブレイクスルーに検定試験の情報を掲載し、3年間見通した資格試験の取得に向けて生徒を支援する。</p> <p>⑥検定試験の学習の支援者数及び合格者数を増加させる。特に、2級合格者を増やす。</p>	<p>①各教科の授業の中で小テストや確認テスト等を実施し、それに向けての家庭学習を指示して学習時間の増加を図った。授業改善アンケートの結果では、日頃から家庭学習をしている。宿題が出ると家庭学習をする、考査前になると家庭学習をするの合計が74.7%で昨年より2.9%増加している。</p> <p>②10月23日～11月30日を授業研究月間とし、授業公開による教員相互の学び合いを実施した。</p> <p>③研究授業の際にICTの活用を意識して実施することで研究協議の際に意見交換する等、各教科で工夫・改善を進めることができた。</p> <p>④図書館ガイダンスの実施や授業・行事等での活用等とともに、図書館だけの発行や特集コーナーの設置、生徒発信のおすすめ本の紹介等を実施するとともに、積極的なホームページでの広報により利用を推進した。図書館を利用した授業：(H22)4教科19回～(H23)6教科38回</p> <p>⑤1年生で漢字検定、2年生で家庭科食物調理技術検定を全員受験。事前に漢字検定模擬テストを実施の上、結果を可視化し自己の現在地を確認させた。1年生漢字検定全員受験の合格率74% (3月末現在)</p> <p>⑥2級以上合格者、英語検定:2名、家庭科食物調理技術検定:5名、家庭科被服製作検定(洋服):1名、家庭科被服製作技術検定(和服):12名、全商簿記実務検定:1名、2級二級合格者、英語検定:25名、漢字検定:21名、国際連合公用語英語検定試験 B級取得:1名、埼玉県高校生専門資格取得発表:13名(3月末現在)</p>	<p>達成度</p> <p>評定</p>	<p>○新学習指導要領に対応した授業への改善に努める。</p> <p>○引き続き生徒に家庭学習の習慣化を働きかけ、学習時間の増加による学力向上を図る。</p> <p>○教員のICT活用スキルの更なる向上を図るとともに、生徒用タブレット端末の有効活用の研究を進める。</p> <p>○アクティブラーニングについての工夫を進め、進路実現に向けた「学びの主体性」の育成を継続する。</p> <p>○資格取得・外部模試等をきっかけとして生徒の進路意識の向上を図る。</p>	<p>・学校関係者からの意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善をはじめ、家庭学習の習慣化や、効果的なICTの活用により、主体的に学ぶ意欲と探究心を持った生徒の育成に努めていることは高く評価できる。</li> <li>・資格試験を通して進路の意識向上へと向かっていることはよいことだと思う。生徒が興味ある分野で試験などあると良いと思う。</li> <li>・授業前に授業の準備ができていて生徒が多く、ペア活動やグループ活動などで自分の意見を話して、しっかりと意見交換できている生徒が多かった。</li> <li>・パソコンやプロジェクターを使った授業も昨年度に比べ増えたと感じた。</li> <li>・今使用しているクラスルームというアプリをもう少し活用してもよいのではないかとと思う。</li> </ul>
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>きめ細かな生徒指導の実施により、生徒は前向きに学習に臨み、安定した学校生活を送れている。</li> <li>規範意識を持って意欲的に学校生活を送る生徒が増えている。</li> <li>人間関係の悩みを抱えている生徒が複数おり、心の支援を必要としている生徒がいる。</li> <li>近隣住民から自転車マナーに対する意見が多く、登下校中の接触事故がある。</li> <li>生徒会が中心となって学校行事を運営出来ている。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員と生徒との信頼関係を強化し、一人一人が規律ある態度を実践し、将来へ向けた自主自立と必要な規範意識をより一層向上させること。</li> <li>引き続き全職員の共通理解を得ながら生徒の安心安全を確保し、充実した学校生活ができるようにすること。</li> <li>自己肯定感がある生徒を育てるため、活躍できる場を多く設定すること。</li> <li>生徒が様々なところで自らの意思で決断し、行動できるようにすること。</li> <li>心の支援を必要としている生徒に対して組織的に行うために連携体制を強固にすること。</li> <li>登下校時の安全を確保すること。</li> <li>SNSの望ましい扱い方についての指導を工夫すること。</li> </ul>	<p>自らの意志で行動を律する力を持ち、規範意識の向上に努める生徒を育成する</p>	<p>①教職員間、保護者との連携を密にし、遅刻指導や身だしなみ指導等を実践することで基本的生活習慣が生徒自らの力で身に付くように指導する。</p> <p>②スクールカウンセラーによる教育相談を定期的に実施する。</p> <p>③校内教育相談体制を充実し、草加分校と連携した体制を実現する。</p> <p>④二者面談の実施。(年2回以上)</p> <p>⑤生徒の規範意識を醸成し、交通ルールやマナーを守るとともに、時間に余裕を持った通学に向け5分前登校を推進し交通事故ゼロを目指す。</p> <p>⑥SNSの望ましい扱い方について学び、生徒がトラブルに巻き込まれないようにする。</p>	<p>①欠席率、遅刻率の減少を目指す。</p> <p>②皆勤者の増加を目指す。</p> <p>③生徒が充実した学校生活を送れるようにスクールカウンセラーと連携を深めながら支援する。</p> <p>④草加分校と協力した教育相談対応やケース会議等を実施し、情報共有の機会を設定する。</p> <p>⑤生徒との二者面談を4月、9月に実施する。</p> <p>⑥交通ルールを守り登下校時の交通事故を無くす。</p> <p>⑦SNSについて講演会等を通じて学び、望ましい扱い方を身につける。必要に応じて生徒会主体で呼びかけを行う。</p> <p>⑧授業におけるICT・BYODの活用も踏まえた、タブレット等の利用のルール整備を進める。</p>	<p>①欠席率:2.5%、遅刻率:0.8%(3月末現在)</p> <p>①皆勤者:175名(3月末現在)</p> <p>②スクールカウンセラー来校回数:9回、カウンセリング回数:のべ30回(3月末現在)</p> <p>③家庭の状況を含めた生徒の問題への支援のため、スクールソーシャルワーカーの活用を開始した。来校回数:8回、相談回数:のべ10回(3月末現在)</p> <p>④二者面談については、全体として取り組んだ他にも必要に応じて個々に実施し、生徒の学校生活を支援した。</p> <p>⑤県交通安全教室に参加した生徒による伝達講習をはじめ、折に触れて自転車のマナーや交通安全について呼びかけを行い、交通マナーの向上と事故防止に努めた。登下校中の事故:15件(3月末現在)</p> <p>⑥全校生徒を対象に、外部講師を招いて反社会的組織への加入防止・SNSトラブルと闇バイトの恐怖についての講演会を実施し、SNS等の安全な利用について学習した。</p>	<p>達成度</p> <p>評定</p>	<p>○次年度も継続してきめ細かな生徒指導を行う。</p> <p>○生徒指導の方針を全職員で共有しながら実践していく。</p> <p>○全職員で生徒の学校生活を支援していくとともに、心のケアを必要としている生徒に対する教育相談体制をより充実していく。</p> <p>○分校との連携を強化し、インクルーシブ教育を推進する。</p> <p>○交通安全を励行し、自転車マナーアップを意識させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が相談しやすい校内体制の充実を図るとともに、関係機関との連携を図ることで、生徒に寄り添った教育の推進は高く評価できる。生徒にとって家庭に次ぐ「第2の居場所」としての学校の存在が欠席率の低さから見て取れる。</li> <li>・いつでも、どこでも、見られてもいいようにという指導方針は、重点目標に合致していると思う。</li> <li>・あいさつもしっかりと、テキパキと話す生徒たちを見て、先生方の尽力を感じる。</li> </ul>
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科や各分掌との連携により、生徒の進路実現の達成率は90%を超えている。</li> <li>情報提示の方法や小論文指導の改善等により、昨年は上位校への受験数・合格数も増加した。</li> <li>探究学習やICTを用いた学習支援、手帳指導も有機的に繋がり機能している。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワンランクアップの進路を目指してチャレンジする意欲を向上させること。</li> <li>多様な生徒の進路への対応を組織的に行うこと。</li> <li>本校進路指導の根幹である職業観の育成と就職希望、看護医療系希望への指導を継続すること。</li> <li>一般、公募、AOでワンランク上の進学先を目指す指導を保護者への情報提供とともに確立すること。</li> <li>公務員を目指す生徒への支援を早期から計画的、組織的に進め、二次試験合格者を増やすこと。</li> <li>保護者へ進路に関する情報発信を行うこと。</li> </ul>	<p>希望する進路に向けて意識を高め、ワンランクアップの進路実現を目指して早めに準備し、チャレンジする意欲を持つ生徒を育成する。</p>	<p>①3年間を見通した進路指導計画について共通理解を図り、進路指導部を中心に学年と連携して行う。</p> <p>①ワンランクアップの進路実現に向けて、早い段階からチャレンジする意欲を持たせる。</p> <p>②希望する上級学校への総合型・公募型入試(選抜)や一般入試(選抜)に対応する支援を行う。</p> <p>③一般選抜だけでなく、推薦で大学進学を希望する生徒に対しても、組織的に進学のための補習を計画する。</p> <p>④外部の学習コンテンツの活用を推進する。</p> <p>⑤長期休業中や放課後を活用して、公務員希望者対象の講座、就職者対象の補習等を計画的に実施する。</p> <p>⑥教員向けの進路指導研修を実施する。</p> <p>⑦新高大接続に対応した指導を計画的に実践する。</p> <p>⑧保護者会や個別面談等を通して、進路に関する情報を的確に提供し、質の高い進路指導を継続する。</p>	<p>①集会、総合的探究の時間等を活用して進路講演等継続的に実施する。</p> <p>①生徒が希望する進路の決定100%を目指す。</p> <p>①全学年で手帳指導を行う。</p> <p>②個別面談や小論文等の指導を組織的に行う。</p> <p>②各種進路補習の設定講座数。</p> <p>②外部の学習等コンテンツのアクセス状況。</p> <p>②公務員希望者対象の講座を計画的に実施し、早期の段階からチャレンジするよう支援する。</p> <p>③教員向け進路研修・情報提供の実施回数。</p> <p>③大学等が実施する進路説明会へ教員を派遣し、常に新しい情報を把握、共有して生徒面談等で還元する。</p> <p>④ホームページ等で進路行事や進路情報を定期的に更新し、保護者へ提供をする。</p> <p>④各学年から進路だよりを年6回以上発行する。</p>	<p>①入学当初の1年生を対象を始め、学年集会や総合的な探究の時間等で計画どおり進路講演会・分野別の進路説明会・職業別体験授業・職業人インタビュー等を実施できた。</p> <p>①3年生の進路内定率は100%。(3月末現在)</p> <p>①求人票検索システムHANDYを活用し、生徒の主体的な就職活動を促し、1次内定率は90%を超え、最終的に就職内定率は100%を達成した。</p> <p>①昨年同様上位校にチャレンジする姿勢が見られた。看護系の合格も目覚ましく公立看護専門への合格数は過去最高となった。</p> <p>①学年集会、進路行事等の要所で手帳を活用して、1年間の見通しを立てて計画的に行動させることができた。特に3年生では進路のスケジュール管理や進路活動、面接練習等日常的な活用が進み、自己マネジメント能力の向上につながった。</p> <p>②夏季および冬季休業中を中心に各教科で進学補習を実施し、のべ100名以上が受講した。</p> <p>②スタディサプリでの課題配信や一般常識テスト等を実施した。</p> <p>②外部講師を招いての公務員講座を定期的に実施した。年明けからは対象を2年生に移し早期の意識付けにつなげた。</p> <p>③来校型オンライン型共に積極的に参加し、情報を把握できた。また上級学校や企業との連携も密になり、新たな指定校や優良企業を得ることができた。</p> <p>④Googleclassroomで進路情報等を配信した。</p> <p>④進路だよりを各学年学期末に発行した。</p>	<p>達成度</p> <p>評定</p>	<p>○次年度以降も集会、総合的探究の時間等を活用して進路講演会等継続的に実施する。</p> <p>○新教育課程における受験に関する情報収集に努め、変更事項等も含め新しい情報の提供に努める。</p> <p>○希望する上級学校への総合型・公募型入試(選抜)や一般入試(選抜)に対応する支援を行う。</p> <p>○教員向け進路研修会を実施する。</p> <p>○スタサブ、HANDY、手帳を総合的に指導し生徒が主体的に取り組めるよう工夫する。</p> <p>○大学等の説明会(オンライン含む)、上級学校および企業訪問に積極的に取り組む。</p> <p>○保護者向けにホームページ等を利用した進路情報の提供を進める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路講演会をはじめ、様々な手立てにより、生徒自らの進路実現に向けた教育を推進している。また、進路決定までの進捗を自ら考えさせることで、自己調整能力等これからの社会で必要な資質・能力の育成に努めていることは高く評価できる。</li> <li>・90%を超える進路達成率は生徒たちの努力と先生方の尽力の賜物と思う。</li> <li>・行けるところではなく、行きたいところという進路指導は生徒たちのモチベーションをあげるものと思う。</li> <li>・生徒たちが夢を持ちながら、自分らしく生きられる方向性が見つかると思う。</li> </ul>
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的な情報発信と施設開放、地域ボランティア等を行っている。</li> <li>近隣中学校と良好な関係を築いている。</li> <li>コロナ禍で中断した獨協大学との連携を再開している。</li> <li>コロナ禍以降学校行事や授業公開への保護者の参加が減少している。</li> <li>草加川がやき特別支援学校草加分校との交流は良好である。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の小・中学校との交流を継続して実施するとともに定着化させること。</li> <li>PTA活動への保護者理解と参加者を拡大すること。</li> <li>地域住民の方々から来校する機会が限られている。</li> <li>獨協大学との取組を検証し、進めさせること。</li> <li>分校との相互理解を推進するため学校行事を中心とした交流を行うこと。</li> <li>職員の交流(合同研修会)に取り組むこと。</li> </ul>	<p>様々な人との交流を通して人権感覚を育成し、コミュニケーションを育みながら地域活動等に参加できる活動的な生徒を育成する。</p>	<p>①生徒自身が地域で活躍することを通して、地域住民や小・中学校等に本校の良さを発信し、地域に根差した信頼されるの高校として魅力を発信し、学校説明会に参加する人数を増やす。</p> <p>①ホームページを効果的に活用し、生徒の活動を積極的に掲載する。</p> <p>①獨協大学との取組を年1回行い、検証する。</p> <p>②PTA・後援会理事会を中心として、保護者間の連絡や連携を強化するとともに、各種行事等に職員と一緒に参加する。</p> <p>③草加分校と連携し、日々の連絡を共有する体制を構築する。また、各種行事を生徒だけでなく保護者、職員が一緒にいっしょに一体感を味わう。</p> <p>③草加分校の職員と合同研修を行い、職員間の交流を推進する。</p>	<p>①学校説明会への参加者720組(定員240名×3)を目指す。</p> <p>①地域ボランティア活動や地域のイベント等への参加部活と生徒数を増加させる。</p> <p>①ホームページを全職員で積極的に更新する。</p> <p>①獨協大学との取組を年1回行い、交流を深める。</p> <p>②保護者の授業公開やPTA活動、各種行事等への参加数を増加させ、学校への関心を高める。</p> <p>③合同での行事を実施する。</p> <p>③日常での相互交流を図る。</p> <p>③合同研修会(年1回以上)を実施し、職員間の交流を図る。</p>	<p>①部活動体験・見学会、学校説明会への参加者703組。(1月22日現在)目標とした定員の3倍達成はならなかったが、多くの中学生に関心を持ってもらうことができた。</p> <p>①地域清掃活動について、12月の参加者数は65名、3月は中止(3月末現在)</p> <p>①草加マールでの草加西高校部活動イベント(2回)、地域おこしへの花手水作成、草加ふささら祭・新田西祭り参加、福祉施設での交流、地域FMでの月1番組出演、小中学校との交流では県主導のスポーツ交流4件の他、お星の放送交流、書初め交流等、部活動で積極的に参加し、地域の方々との交流を進めた。</p> <p>①ホームページの更新数243件に加え、部活動紹介動画の更新等により、アクセス数47万2千回と昨年をさらに上回る結果となった。(3月25日現在)</p> <p>①獨協大学の図書館開放の活用を検討中。(2月6日現在)</p> <p>②体育祭・文化祭の一般公開の補助が実施できたが、ロードレース大会は学年閉鎖の影響で中止となった。新たな取り組みとして、生徒対象の進路行事を参観していただく形で、教育活動への理解を深めていただいた。PTA活動全体としてはまだ制限が多く、十分な連携強化は難しかった。</p> <p>③体育祭・文化祭の合同開催、緑化事業、授業体験や分校のパン販売等で交流を実施することができた。</p> <p>③合同職員研修会を実施し、グループ協議により交流を図ることができた。</p>	<p>達成度</p> <p>評定</p>	<p>○ホームページの活用を始め、あらゆる方法を検討しながら、草加西高校の魅力の発信を行う。</p> <p>○地域に根差した学校として、地元小中学校との連携を深め、地域貢献を図る。</p> <p>○草加市役所や草加アコス等、地域との関係を大切にし、更なる発展を模索する。</p> <p>○時代に合ったPTA活動の在り方を模索し、生徒のために学校と家庭共に歩む道を開く。</p> <p>○高校内分校設置校の先駆けとして、分校とのより積極的な交流を推進し、インクルーシブ教育の発展を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともにある学校づくりを目指し、ボランティア活動を活性化させたり、地域清掃に取り組みんだりするなど、学校を核としたコミュニティ・スクールの構築に全力を挙げていることは高く評価できる。</li> <li>・身近に分校があるのはとても素晴らしい環境だと思いますが、分校とどのように関わっているのかわかりませんが、情報が多すぎないのが残念です。どんな人も平等に生きる権利を学ぶために、発信をお願いします。</li> <li>・ホームページの活用による保護者への発信や、アコス等地域とのかわり、そして一番近い分校との連携は人間性を育む場になっていると思う。</li> <li>・地域ボランティア等、地道なかつ長期的な活動が大事かと思われる。今まで同様頑張ってください。</li> </ul>